

乳幼児のこころと子育て

— すこやかな成長・発達のために —

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。<承認期間:平成29年7月1日~平成34年6月30日 承認番号:W29111>

期 日:2018年12月15日(土)・16日(日)

受講対象:教育・医療・相談・福祉・保育などの各機関・現場等で子どもに関わる方々、
ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方

定 員:80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 ☎03-3986-7021

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします

東京都豊島区高田3-19-10

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

近年「赤ちゃん学会」が発足し、更に「胎児学」という学問も長足の進歩をとげつつある。これらは人間理解のひとつの方法として、胎児、新生児、そして乳幼児についてもっと学ぼうという新しい動きのひとつとしてみることができよう。他方、保育園・幼稚園などで、お友だちとうまく遊べない子、集団行動に入れない子、乱暴をする子、おちつきがない子たちがふえている。また育児の場面では、育児不安が強い親や、子どもを虐待してしまいそうで怖いと訴える親がふえている。それにともない保育や心理臨床の場では、子育て支援の必要性や支援のあり方が切実な問題として問われている。

そこで本講座では、まず乳幼児のこころの発達について理解を深め、ついで、人の生涯教育の視点から、子どもを養育する立場にある様々な人々の生き方、考え方、人としての心のありようにも思いを巡らし、かつ家族のあり方、家族支援のあり方についても考えてみる。更には子育て支援の実際についても考えてみたい。かくして、人の成長・発達、そして生き方全体を包括的にとらえて考えてみたい。

小 倉 清【クリニックおぐら 院長】

《プログラム》

日程	時 間	テ ー マ	講 師(敬称略)
12月15日(土)	13:00~15:00	乳幼児のこころの発達	クリニックおぐら 院長 小倉 清
	15:15~17:15	子どもとおとな間の健全な遠心性	早稲田大学人間科学学術院 教授 根ヶ山 光一
12月16日(日)	10:00~12:00	育児期の家族と家族支援 — 家族療法の観点から —	IPI統合的心理療法研究所 顧問 平木 典子
	12:00~13:00	昼 食 (各自おとりください)	
	13:00~15:00	親子としてともに育つ時期の 子育て支援の実際	クリニック川畑 院長 川畑 友二
	15:15~16:15	受講者の皆さまと講師との対話	(前 掲) 小倉 清 (前 掲) 川畑 友二

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。